



外国出張報告書

平成 26 年 10 月 4 日

1. 出張国名 タイ
2. 出張月 平成 26 年 8 月～9 月
3. 出張目的 公共林における現存量計測区の定期生長量調査ならびに
非木材森林産物（NTFP）採取登録制度に関する調査：C

4. 成果の概要

林産物供給能力評価の背景として森林の構造及び現存量の経年変化を計るため、既設の公共林現存量計測区において、計測開始 2 カ年が経過した林分の成長量を計測した。異なる林相の二つの計測区では、*Dipterocarpus spp.*、*Shorea spp.* 等優占種の下種更新が盛んにみられる一方、成木に対する強風あるいは被圧（またはその双方）によると思われる梢端の欠損や小径木の倒木が観察された。

本公共林は、地域住民により適切に利用・維持されていると言われている。確認されている非木材森林産物のうちタケノコについて開始された採取登録制度の実施状況を調査したところ、当該村及び近隣村から 100 名（または世帯）以上が公共林を日常的に利用し、産物を自家消費あるいは販売に供していることを確認した。これらの利用は秩序をもって行われているようであり、このことが公共林の維持に役立っていると考えられた。